

アレルギー対応は？

学校給食は、今

食器は？

給食費は？

学校	給食時間 (注1)		せっけん使用	食器の材質	自校式かセンター式か	直営か委託か
	小学校	中学校				
円	40~45分	35~40分	△	強化磁器食器とプラスチック系併用	自校式とセンター式	委託
円	45分	35分	○	強化磁器食器	自校式	一部直営だが委託の方向
円			×	プラスチック系	センター式	委託
円	40~45分	30分	○ (注3)	強化磁器食器	自校式 (親子方式 注4)	委託へ移行中
円	45分	50分	×	委託校は磁器・直営校はアルマイト	自校式	小学校は一部直営 (委託へ移行中) 中学校は委託
円	50分	45分	○	強化磁器食器	自校式	委託
円	40~45分	35~50分	△	強化磁器食器	自校式とセンター式	委託
円	45分(平均)	38分(平均)	△	プラスチック系	自校式とセンター式	小学校は直営 (一部委託) 中学校は委託とPFI
円	30分	20分	×	プラスチック系	センター式	直営
円	40分	35分	×	プラスチック系	センター式	委託
円	20分 (注2)	20分 (注2)	×	プラスチック系	自校式 (親子式も) とセンター式	自校式は委託へ移行中 / センターはPFI

注1=給食の合計時間 注2=食事時間のみ △=一部使用 注3=一部米ぬか原料の粉石けん 注4=隣接する学校の一方で調理する方式

成長期の9年間、毎日食へ続ける学校給食は、子どもたちの体に大きな影響を与えます。飽食の時代と言われる反面、給食が唯一の食事になっている子どもが増えている現実も見逃せません。また、中学校では喫食(食事)時間が10分程度しかとれないことを指摘する声も聞きます。栄養教諭の設置によってはたして食育はすすんだのか？センター式と委託化が進む中、作り手の愛情は伝わるのか？地域で採れた野菜や米への愛着はすすむのか？県内各市の現状を調査比較してみました。

●合理化によって食育や安全は担保されるのか

自治体の財政負担軽減のため、給食調理業務は年々合理化がはかられています。その結果、センター方式や委託が多くの自治体で進んでいます。一方、市民運動により自校式や直営が守られた自治体もあります。委託業者にせっけん使用を求める、

食器の材質

約半数の市で強化磁器を使用しています。センターからの配送で割れにくいものとの理由からプラスチック容器を使用している市もありますが、センター式でも強化磁器を使用している事例もあります。近年では強化磁器のリサイクルも可能になっています。食事環境の豊かさは食育の基本であり、ここでも教育委員会の姿勢が問われます。

石けん利用と残滓リサイクル

残渣は、学校ごとに堆肥化やメタンガス発酵にリサイクルされているところもありますが、ごみとして処理されているものも多く今後の課題です。さらに循環や環境学習に生かすという視点は不十分で、野田市や柏市などのように学校の花壇で使用するなど教育的活用も求められます。

石けんの利用は、たとえセンター方式や委託であっても使用している事例があり、過半数の市で使用されている実績があります。印旛沼や手賀沼といった水域を抱えている市民が地道な運動を継続した成果でもあると思われます。まだ導入されていない市に対し、ネットとして働きかけていきます。

●学校給食民間委託の差し止め住民訴訟〜市川

市川では各学校に給食室があり、それぞれ栄養士が献立・地場産野菜等の活用を図る等の工夫を行っています。しかし経費削減のため、学校給食民間委託の差し止め住民訴訟が提起されています。市川では各学校に給食室があり、それぞれ栄養士が献立・地場産野菜等の活用を図る等の工夫を行っています。しかし経費削減のため、学校給食民間委託の差し止め住民訴訟が提起されています。



強化磁器食器の使用を進める、残渣をリサイクルして資源循環や環境教育に生かすなど、自治体独自の取り組みもあります。学校ごとに調理場を持ち、作り手が見える関係は、食への関心を最も高めるものであるはずですが、また地域で生産される農産物を利用することは、食の安全の確保にもつながります。合理化により食育や食の安全が犠牲となっては困ります。

●せっけん使用の取り組み〜四街道

四街道市の市民ネット運動は、1994年に「廃食用油リサイクルへの積極的対応とせっけん利用推進に関する請願」を3000名の署名と共に市議会へ提出したことから始まりました。請願は採択されましたが、実現にはほど遠い状況でした。そこで1996年に初めての代理人を送り出します。1998年には「ポリカーボネイト製の学校給食食器の変更を求める請願」が採択され、強化磁器への変更が実現しました。学校給食でのせっけん利用は、NPOせっけんの街と共に、教育委員会や各学校に働きかけました。調理員さんの口コミもあり、現在では小学校2校、中学校4校で廃食用油リサイクルせっけんが使用されています。

●学校給食は、今



食料自給率や食の安全が問題となり、さらに経済格差が子どもにも影響を及ぼすことが懸念される今、子ども達が「健全な食生活」を実践するための力を身につけることは大切なことです。そのために学校給食が果たす役割は大変大きいのです。学校給食の質の向上には、教育委員会、自治体の考えが大きく影響を及ぼします。そしてここに影響を与えるのは私たち市民の力なのです。

●食育実践の場となり得ているか

昨年、1954年の施行から初めて学校給食法が改正され、従来の「普及充実」に加え、「学校における食育の推進」が新たに規定されました。食に関する正しい知識、自ら食を選択する力の習得、健全な食生活の実践がその目標です。

市民ネットワークはこれまでも残留農薬・食品添加物など食を取り巻く

多くの自治体で使用される工夫がみられます。米とほとんどの野菜を更津市・袖ヶ浦市でも内産で、食への関心と組みが工夫されている。確保は、食育の基本であり、特に中学校では(食事)時間が確保されたいです。

各学校で、タケノコ・のり・梨などの地場産物の活用や温かい食事の提供、バイキング方式やセレクト給食などの工夫もなされています。今後は「楽しさ」だけでなく、「食」の大切さを伝える「食育」にも力を入れてほしいと願っています。

食育は？

学

地産地消は？

市民の時間 civil time

Vol.24

自立をめざす人、応援します
障害者就労のひとつの形

特定非営利活動法人 一粒舎 代表 飯田喜代子

障害者が施設から地域に出て暮らしていくことが可能な時代になりました。しかし、現実には、障害者を雇用する企業は少なく、福祉就労と呼ばれる働き方をせざるを得ない人が大半です。福祉作業所の仕事は、内職、農産物の生産・加工、パン・クッキーの製造、皮製品、木工などの物づくり等々さまざまです。職員が先頭に立って働き頑張っていますが、それでも障害者に支払われる工賃は信じられないほどの低さです。

障害者の手にする工賃は、作業所の売上から原材料費を引いたものを分配します。従って、売上額が増えなければ工賃も上がりません。内職の仕事をしているところでは、月額3千円に満たない工賃しか分配できないという現実です。

一粒舎のある木更津市と、その周辺地域の福祉作業所の平均工賃は、月額5千円前後です。こうした現状を変えなければ、障害者が施設や親元を離れて自立した生活を送ることはできません。

一粒舎は最低月額3万円の工賃を



めざしています。これは障害者年金と合わせて、グループホーム等で暮らしている最低賃金だからです。このために付加価値の高いものをつくり、売上げを上げることが必要であり、一粒舎は現在、EM有機肥料の委託生産と無農薬・有機肥料のブルーベリー農園を経営しています。ブルーベリーは観光摘み取り園の他、生果の販売、ジャム・ケーキの加工販売を行い、売上額はブルーベリー関係が6割、委託生産が4割を占めています。

今年からもう一本の柱として雑穀の生産を始めました。農地はすべて遊休農地を借りています。500坪の雑穀畑は、アマランサス・あわ・キビの種を時き収穫の季節を迎えています。虫食いだらけのアマランサスよりタカ



ブルーベリー園の休憩所が完成

一粒舎の工賃は今のところ2万円がやっとですが、今後、ブルーベリーをたっぷり入れたマフィンとブルーベリージュースを楽しめる喫茶店や瞬間凍結のブルーベリーの通年販売などで、工賃の大幅アップをめざしています。キビ団子や雑穀の惣菜が登場するかもしれせん。新しい仕事を障害者と共同で作っていく一粒舎が、「ひとつの種」になることを願っています。

キビが育てやすい等、来年度に向けての教訓も生まれています。

一粒舎の利用者は、知的障害のA1からB2までの人10人と精神障害の人が3人です。

注1=配食・食事・片

Table with 3 columns: City, 給食費 (1食当たり) 小学校, 中学校. Lists cities like 野田市, 柏市, 市川市, etc., with their respective school lunch costs.

食育と喫食時間

地域食材は多岐にわたる。特に佐倉市では、郷土料理の米は100%市内産、木更津市は米を高める取り組みがある。食事時間の短縮は、十分な喫食（食）を確保せず、問題

一食あたりの給食費

小学校で222円から294円、中学校で263円から366円と、自治体によって若干の差があります。法律では、給食費は保護者が負担することとなっていますが、市川市では21年度より保護者の負担軽減のため米代として約1.1億円を一般会計から補助しています。愛媛県今治市のように、市が補助金を出して給食用の米や小麦の栽培を奨励している事例もあります。

食物アレルギーへの対応

呼吸困難等に陥るアナフィラキシーショックについては教職員が注射をしても医師法に触れない、とされていますが、まだまだ周知が十分でないところもあるようです。アレルギー対応食を提供している自治体はまだ一部で、多くは献立によって弁当を持参させている状況です。しかし、センターや委託方式であってもアレルギー対応している市もあり各市教育委員会の姿勢が問われます。

給食レポート

※学校給食会（財団法人）

1957年、良質で低廉な給食の安定供給を図るために、全国的に設立されました。千葉県では千葉市美浜区にあり、県内の学校給食の食材の40%をまかなっています。同じものを大量に供給することでは、確かに品質は安定し価格は抑えられます。しかし、設立当時の「ともかく子どもたちに栄養をつけよう」という給食のあり方は、その後大きく変化してきました。自校方式が増え、食材はなるべく

※栄養教諭

食生活の多様化とともに叫ばれた「食育」のすすめ。その中心的役割を担うのが2005年に創設された栄養教諭です。簡単に言えば、教諭免許をもった栄養士

様々な問題に深く関わってきました。学校給食には、異物混入やBS E、遺伝子組換え、地産地消や食育と、新たな課題も増えています。また、子どもの貧困が問題となっている今、給食の重要性は新たな意味を持ち始めています。学校給食はまさに古くて新しい問題といえます。

●学校給食の無料化を

給食費の未払いが問題になっていますが、給食費は各学校で滞納対策をとり、帳尻を合わせているのが現状です。経済的な理由だけでなく、保護者の考え方によって不払いとなる場合もあり、児童・生徒にとっての精神的な負担や徴収にあたる職員の業務など大きな影響があります。学校給食法第2条で「小学校教育の目的を実現するため」と明記されている学校給食は、間違いなく教育活動の一環です。学校給食費を無償化して、誰もが安心して教育を受けられる環境をつくるのは国の責任だとネットは考えます。

◆ネットのある市の配置状況

千葉県6人、船橋市3人、柏市2人、市川市2人、佐倉市1人、四街道市1人、木更津市1人。千葉県では新規採用ではなく、従来の栄養士が免許を取得して栄養教諭になることを進めており、全体の数の底上げにはつながっていません。子どもたちの体を育む大切な教育の一環である給食。栄養教諭制度のことも含め、地域の栄養士さんたちとじっくり話し合ってみてくださいね。

2010年度 ちば元気ファンド助成団体決定

応募件数12件。事前審査を経て、6月28日に6団体による公開プレゼンテーションを行い、4団体への助成を決定しました。



- ◆ワーカーズコレクティブ風車..... 佐倉市
ハンデのある人も共に働く、循環型社会をめざした食器レンタル事業 50万円
- ◆カフェ・バルコニーの家..... 千葉市美浜区
地域の茶の間と土壌改良材の販売 50万円
- ◆有害化学物質から子どもの健康を守る千葉県ネットワーク... 県内各市
県内公共施設の化学物質使用状況調査の報告書を冊子化 50万円
- ◆特定非営利活動法人 一粒舎..... 木更津市
遊休農地を借りて、雑穀とクレソンの栽培 50万円

びっくり 県政だより

千葉県議会議員(佐倉市選出) 大野ひろみ



今回の千葉大会の特徴は、「選手強化費」も加えると、総額は

◆どこもなご金食ひ虫

千葉県内の総経費は約65億円。このうち施設整備費は14億円(15%)。残り85%である52億円が運営費(人件費や式典費)として会期中に消えてしま

こんなコクタイはヤメタイ!

9月25日〜10月5日、千葉県で第65回国民体育大会が開かれる。この数カ月間、県は森田知事を筆頭に躍起になってムードを盛り上げようとしているが、県民はあまり関心がないようだ。毎年開かれ、たいていは開催県が優勝するという不思議な国体。さて、その実態は...

ジウムで行われる開会式と、天台スポーツセンターで行われる閉会式。このたった二日間のみで18億円。マリンスタジアムの使用料だけでも1億円! 県民行事なのになぜこんなに高額なのか? また、開会式の司会は知事と同じ事務所のタレント。税金垂れ流しだけでなく、公混同のセレモニーなのである。



◆どこがスポーツ振興なのか?

今回の千葉大会の特徴は、「選手強化費」

が極端に少ないことだ。これまでの開催県はどれも「大会運営費」と「選手強化費」の割合は2:1なのに、千葉県は9:1。金額も他県の3分の1。選手を目前で育てるより、よそから引っ張ってくるのではないかと勘ぐってしまう。他県の選手でも、千葉県の学校に在籍したことがあれば「千葉県代表」として出場できるそうだ。また、開催県は無条件で全競技に参加でき、参加点が加算される。これが「開催県優勝」のカラクリなのである。競技種目で異様なのが「銃剣道」。小銃の先につけた剣で敵を突き殺す日本軍特有の武器で、戦時中アジア侵略と虐殺のシンボルとなった。自衛隊では必修科目となっており、国体参加選手ほとんどが自衛隊員。おおよそスポーツとは呼べない種目ではないか。ネット会派ではこんな国体に異を唱えるため、議国体ポロシャツを拒否、私服で通した。もちろん、代表質問でもしつかりと斬り込んだ。

報告 8月21日

「坂の上の雲」のどこが問題なのか? ~日本が朝鮮半島でしたこと~

NHKで3年間にわたって放映中の大河ドラマ「坂の上の雲」。NHKは「この作品は国の存亡をかけて日清・日露戦争を戦った『少年の国・明治』の物語」だと強調するが、果たしてそんな綺麗ごとだったのか? 講師は佐倉市在住の元東大教授醍醐聡さん。醍醐さんは当時の記録や資料を丹念に集めて検証し、日清戦争も日露戦争も、日本が朝鮮を植民地にするための侵略戦争だったことを、実に分かりやすく説明された。その延長が満州事変であり、太平洋戦争だったのである。エピソードも豊富で、日本軍による「閔妃虐殺」事件や、朝鮮王朝最後の皇太子と日本の皇族との政略結婚、その結婚で運命を狂わされた韓国と日本の二人の女性...など、歴史好きが泣いて喜ぶ話の連続。韓国併合100年の今年、実にタイムリーな好企画であった。



●市民れんらく帳●

- 市民ネットワークちば20周年記念行事
月日: 10月16日(土)
主催: 市民ネットワークちば
- 「雑学いちかわ」No.6 もうひとつの医療・体の声を聞いていますか?
講師: 島あけみさん(鍼灸師)
日時: ①10月17日(日) ②10月31日(日) 共に13:30~15:30
会場: ①行徳公民館 ②アイリンクルーム(市川駅南口)
共に資料代: 300円
共催: 市民ネットワーク・市川/食と健康を考える会
- 講演会「沖縄の歴史から9条を考える」
講師: 大田昌秀さん(元沖縄県知事、前衆議院議員)
日時: 10月17日(日) 14:00~16:00
会場: 佐倉市 佐倉厚生園・記念館 参加費: 無料
主催: 九条の会・千葉地方議員ネット
- NHK大河ドラマ「坂の上の雲」のどこが問題なのか。
~日清・日露戦争 歴史を偽造するNHK~
講師: 醍醐聡さん(NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表)
日時: 11月21日(日) 13:30~ 会場: youホール
主催: いちはら市民ネットワーク TEL 0436-21-1907
- 「心に響かせる DV根絶パネル展—パートナーからの暴力をなくすために」
日時①: 12月11日(土) 11:00~19:00
日時②: 12月12日(日) 10:00~17:00
会場: 船橋市勤労市民センター1階展示室 参加費: 無料
主催: DV根絶パネル展開催実行委員会 (TEL 090-3509-8732 吉沢)
- 講演会(仮)「消費者庁長官福嶋浩彦さんと考える市民自治」
日時: 12月12日(日) 13:30~
会場: 佐倉市内(未定)
主催: さくら市民ネットワーク TEL 043-462-0618

お問い合わせ 市民ネットワーク千葉県 TEL 043-201-1051

全国市民政治ネットワーク2010全国交流集会

今こそ出番だ!!ローカルパーティ地域の時代

隔年開催の全国集会在8月27・28日に東京でひらかれ、北海道から熊本まで1都8道県から140人以上が参集。1日目は講演会と学習会「自治体議会の役割/議会をもっと変える」廣瀬克哉さん(法政大学教授)が、地方議会不要論が巻き起こっている中、議会自身が役割と使命を自覚し実践をする必要があることを強調しました。

全国市民政治ネットワーク 全国交流集会2010
こそ出番だ!!ローカルパーティ 地域の時



学習会は「地域主権改革3法」について。2日目は①調査活動、②議会改革、③元気になる活動の部会に分かれ、各地のネットや議会の活動事例で、それぞれが刺激を受け、元気をもらいました。来年の統一地方選挙にむけ、ローカルパーティが推進する「参加型政治」の意義や政治を変える可能性が確認され、国にお任せする時代を終わらせ、市民主権を実現するために参加の輪を広げていくことをアピールしました。